

栗田工業株式会社

2016年3月期 第3四半期決算説明会

(証券コード: 6370)

I 2016年3月期第3四半期実績

II 2016年3月期通期計画

I . 2016年3月期第3四半期実績

1. 業績ハイライト
2. 受注高・売上高・営業利益・営業利益率
3. 水処理薬品事業
4. 水処理装置事業(電子産業向け)
5. 水処理装置事業(一般産業向け)
6. サービス事業売上高
7. 海外事業売上高
8. 財政状態

1. 業績ハイライト

(億円)

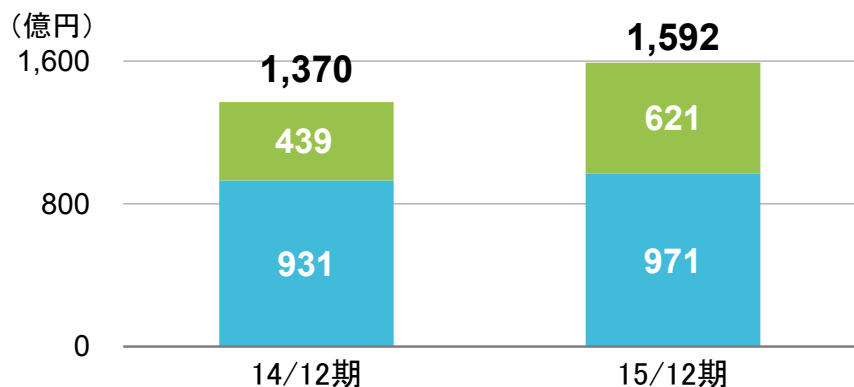
	2014/12期	2015/12期	前年同期比
受注高	1,370	1,592	+ 16.2%
売上高	1,332	1,489	+ 11.8%
営業利益	124	140	+ 13.4%
経常利益	127	147	+ 16.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	77	93	+ 20.8%

- 受注高は、水処理薬品が買収効果により増加し、水処理装置も電子産業向けを中心に増加した。
- 売上高は、水処理装置は減少したが、水処理薬品が買収効果により増加した。
- 営業利益は、水処理薬品が減少したが、水処理装置が増加した結果、グループ全体で増益となった。
- 経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益の伸び率は、営業利益の伸び率を上回った。

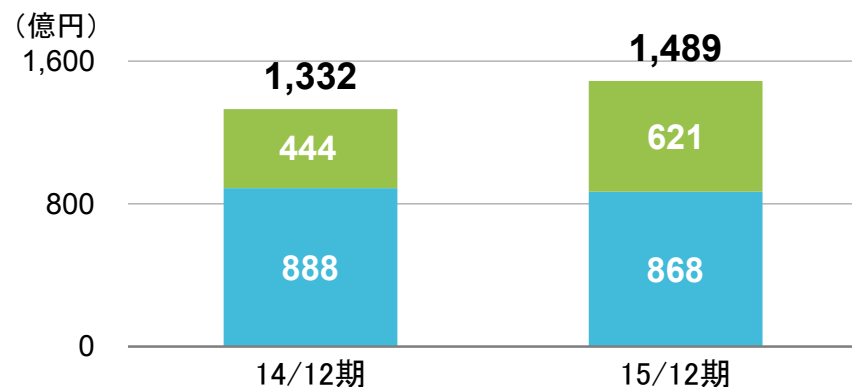
2. 受注高・売上高・営業利益・営業利益率



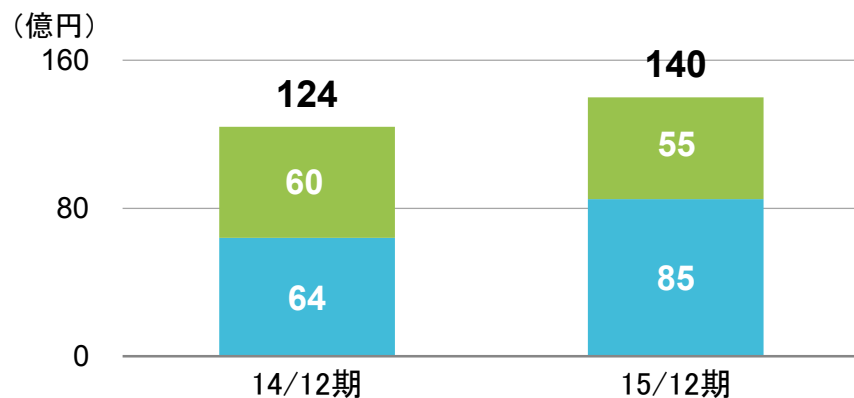
受注高



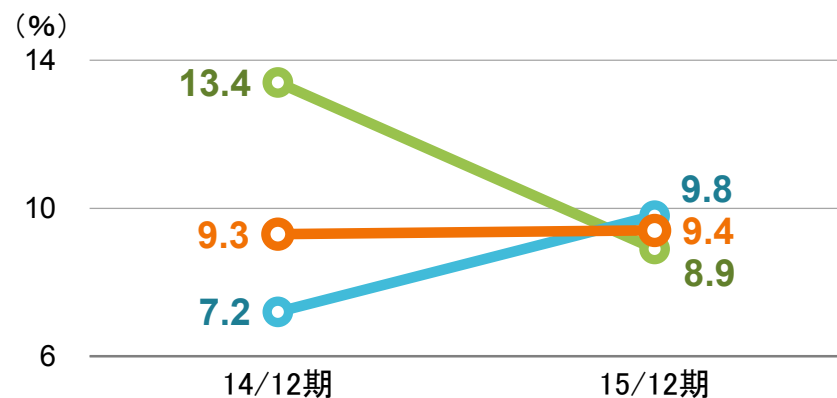
売上高



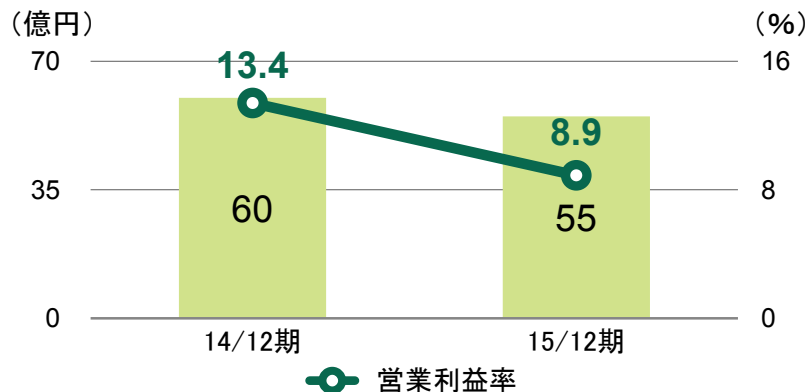
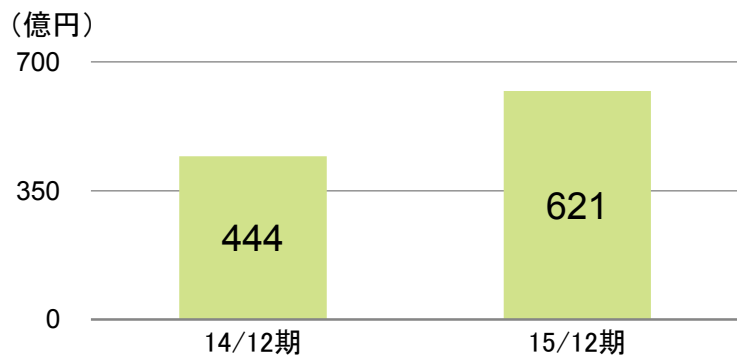
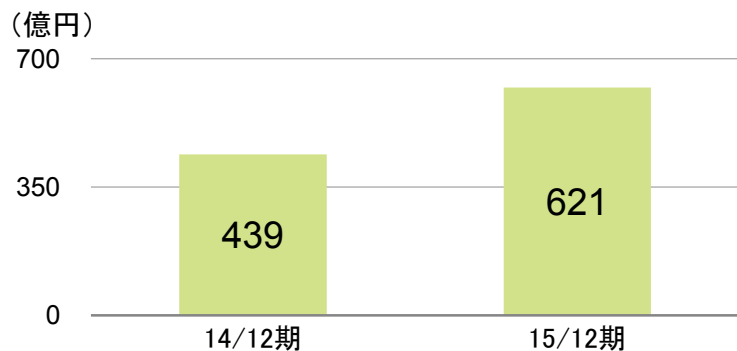
営業利益



営業利益率



3. 水処理薬品事業



受注高

- 国内は顧客の工場操業度の低迷で主力商品が伸び悩み、ほぼ横ばい。
- 海外は欧州での買収効果に加え、中国や東南アジアでも順調に拡大し、増加した。

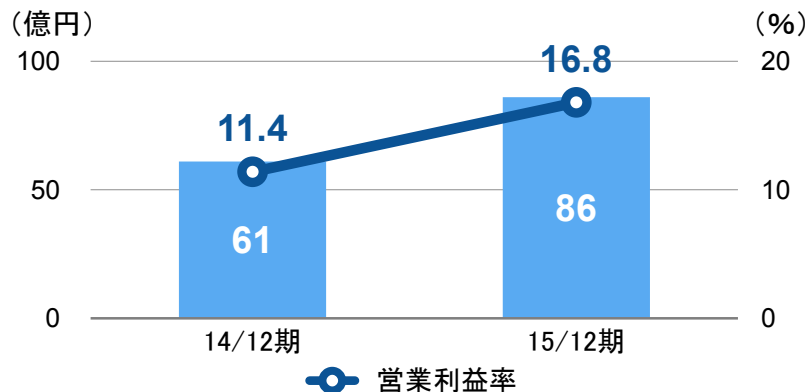
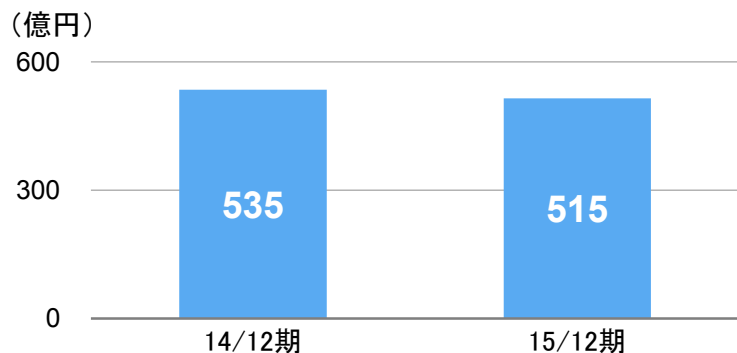
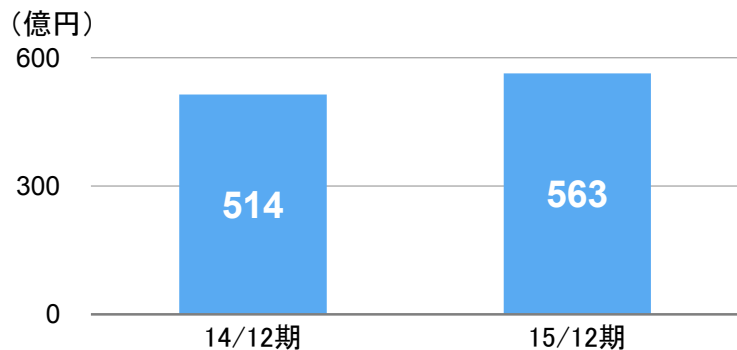
売上高

- 同上

営業利益

- 増収効果はあったものの、買収に伴う販管費の増加により減益となった。
- 欧州での買収の影響を除くベースでは増益。

4. 水処理装置事業（電子産業向け）



受注高

- 国内メンテナンスが需要回復により増加した。
- 国内ハードが電子部品や超純水供給事業の顧客向けに増加した。
- 海外ハードは、中国や台湾で大型案件を獲得し増加した。

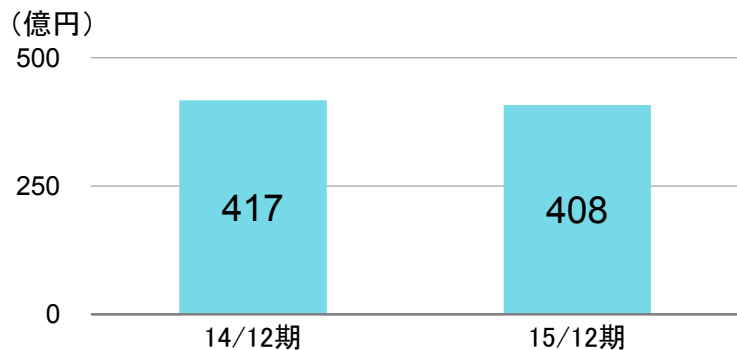
売上高

- 海外ハードは大型案件の売上計上の一巡により減少した。
- 精密洗浄が一部の低採算事業撤退により減少した。
- 国内メンテナンスや超純水供給事業は増加した。

営業利益

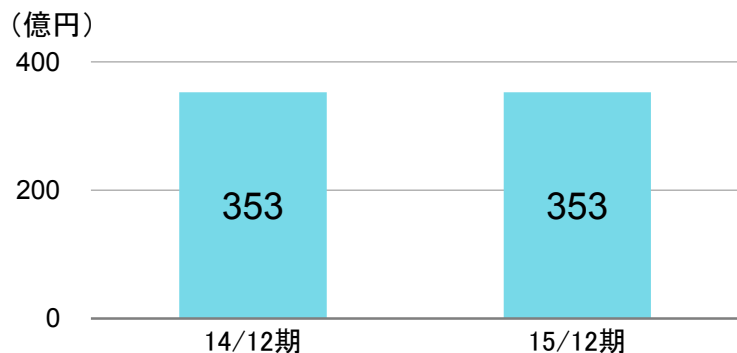
- 減収の影響や販管費の増加はあったものの、原価率の改善により増益となった。

5. 水処理装置事業（一般産業向け）



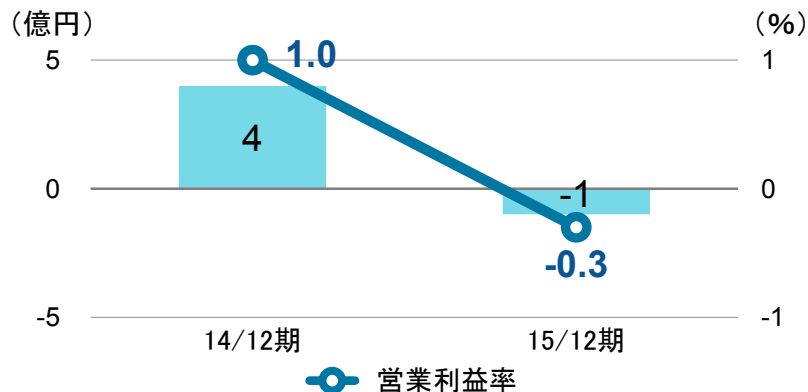
受注高

- 土壌浄化が高水準だった前年同期に比べ減少した。
- 一般産業向けハードは医薬品業界向けなどで増加した。



売上高

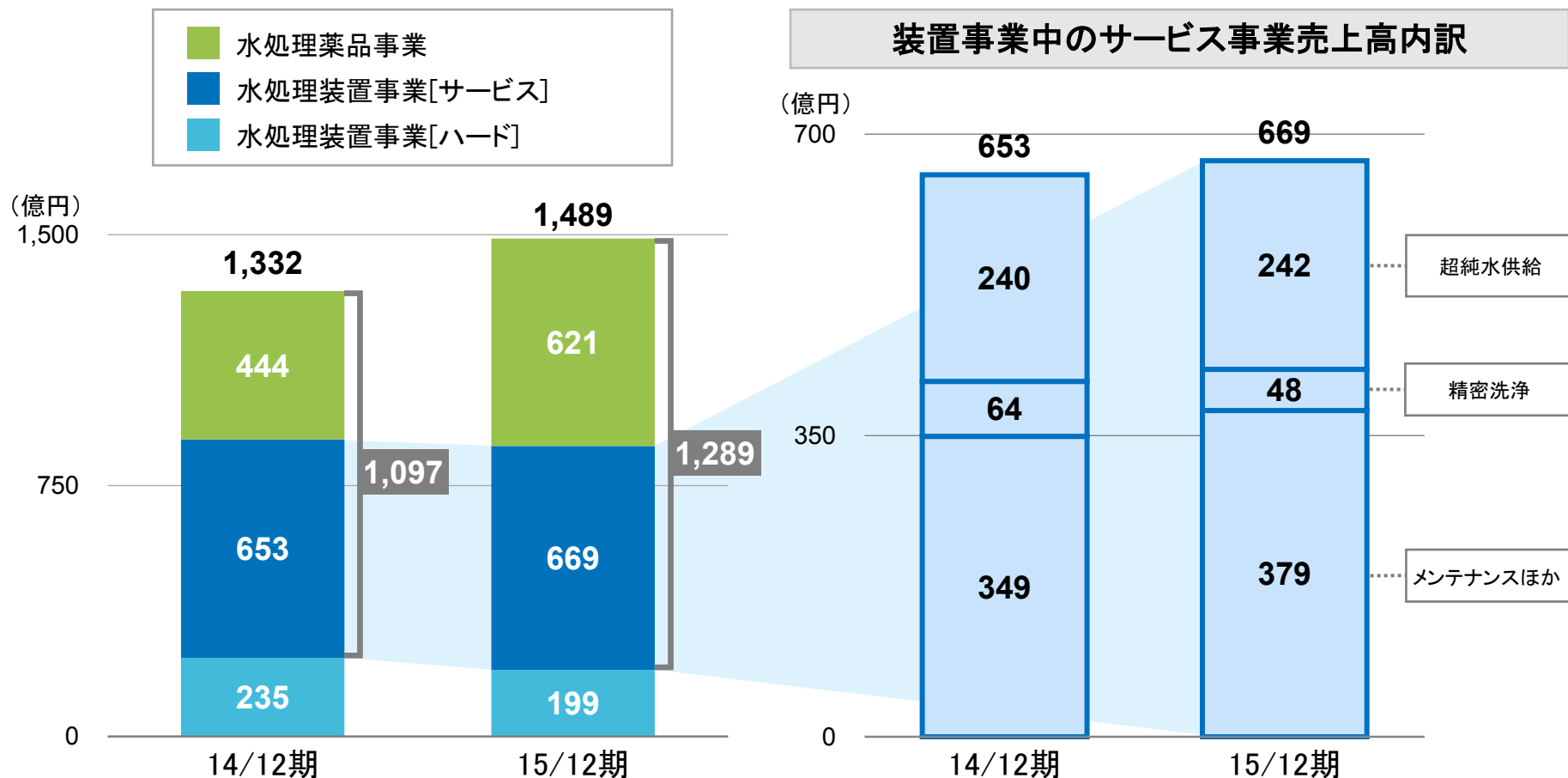
- 一般産業向けハードが工事進捗の遅れにより減少した。
- 土壌浄化や官公需は前年同期に比べ増加した。



営業利益

- 一般産業向けハードの減収に伴う原価率の悪化と販管費の増加により赤字となった。

6. サービス事業売上高



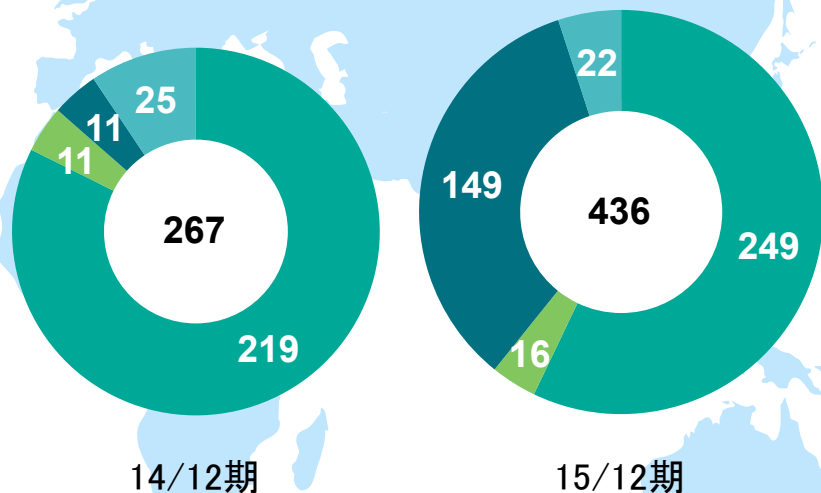
- 精密洗浄は減少したが、水処理薬品およびメンテナンスが増加した。
- サービス事業売上高比率は86.6%。

7. 海外事業売上高

海外地域別売上高



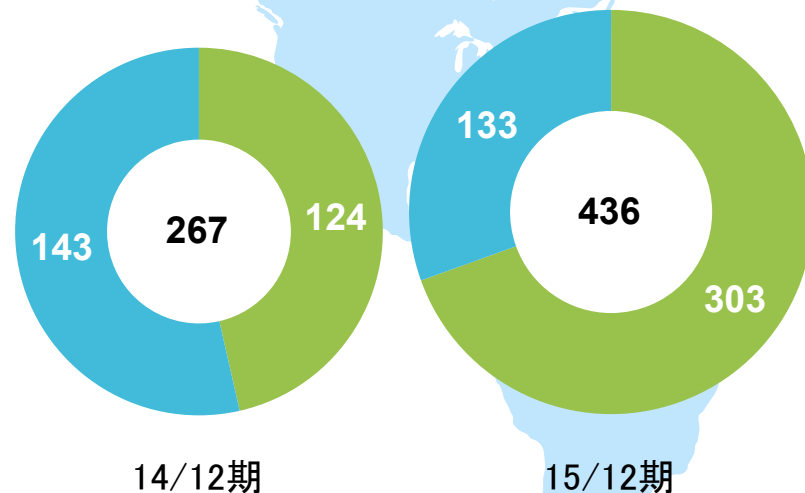
(単位: 億円)



海外事業別売上高



(単位: 億円)

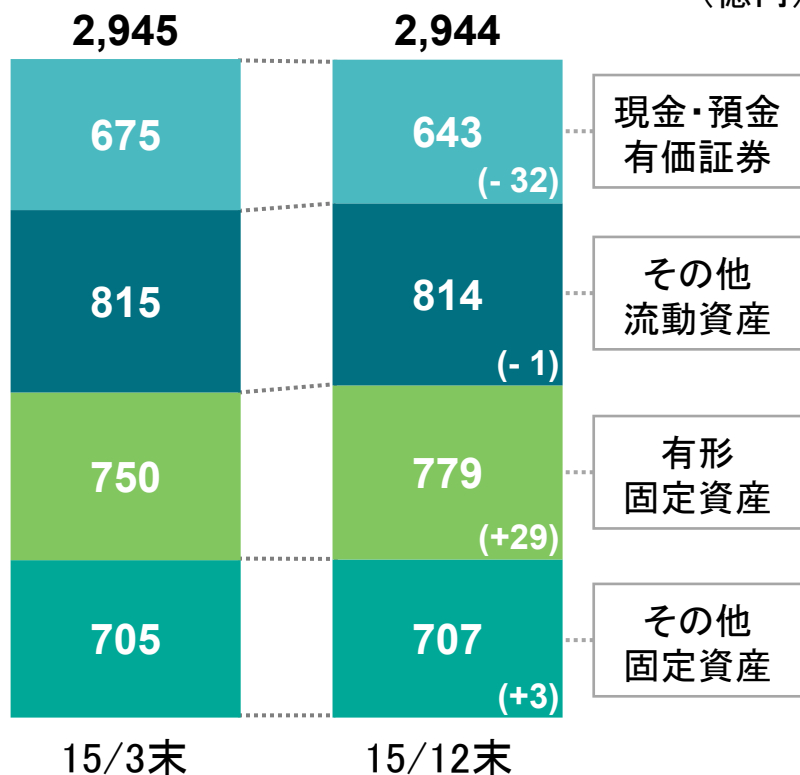


- 水処理薬品事業は、買収の効果で欧州売上高が大幅に増加し、アジア売上高も増加した。
- 水処理装置事業は、大型案件の売上計上の一巡により減少した。

8. 財政状態

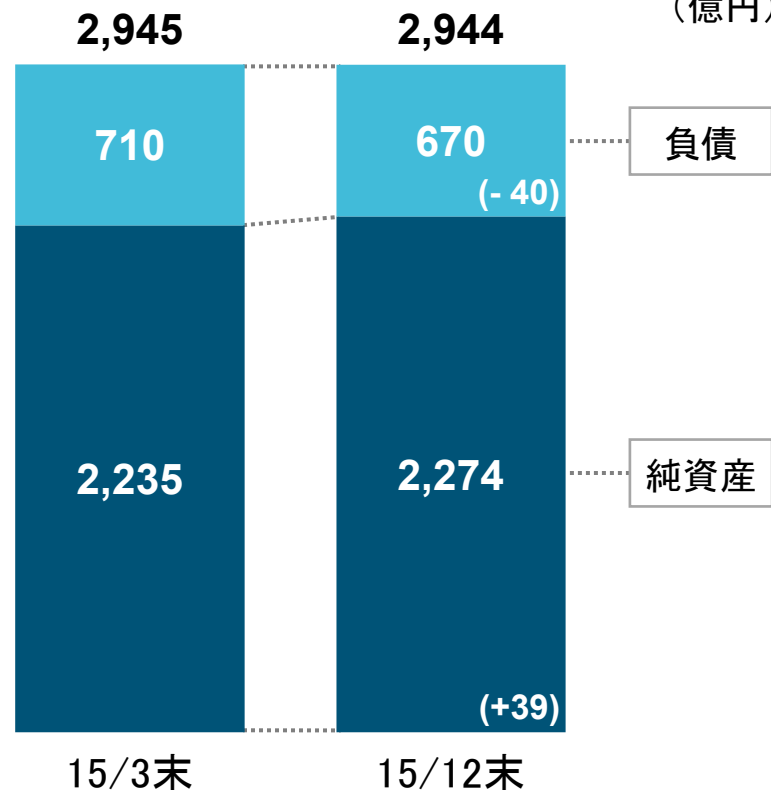
資産

(億円)



負債・純資産

(億円)



- 手元流動性の減少は、主に欧州事業買収による。
- 有形固定資産の増加は、新規の超純水供給事業に係る建設仮勘定が増加したことによる。

Ⅱ. 2016年3月期通期計画

1. 総括
2. 受注高・売上高・営業利益
3. サービス事業売上高
4. 海外事業売上高
5. 設備投資・減価償却費・研究開発費

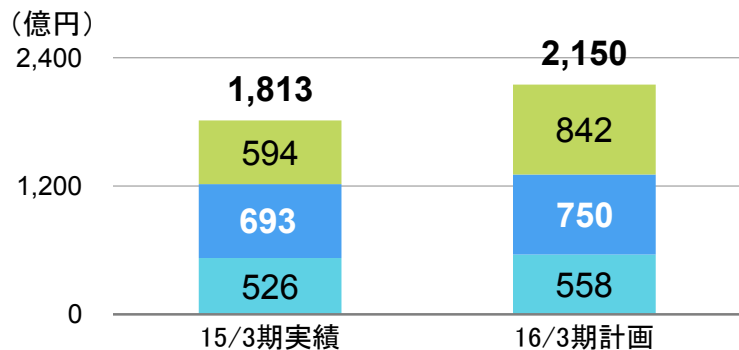
1. 総括

(億円)

	2015/3期 実績	2016/3期 計画	前期比	2016/3期 前回計画	2016/3期 期初計画
受注高	1,813	2,150	+ 18.6%	2,150	2,170
売上高	1,894	2,140	+ 13.0%	2,140	2,160
営業利益	194	195	+ 0.3%	195	195
経常利益	189	200	+ 5.6%	200	200
親会社株主に帰属する 当期純利益	104	123	+ 17.9%	123	123

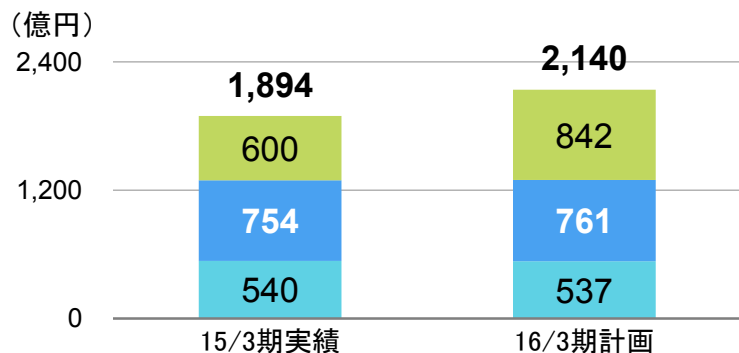
- 受注高・売上高は、第2四半期決算発表時に見直した計画数値を据え置き。
- 利益項目は、期初計画を据え置き。

2. 受注高・売上高・営業利益



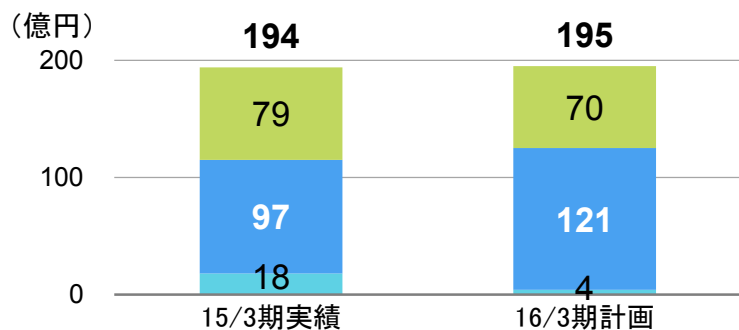
受注高

- 水処理薬品は、海外向けが大きく増加。
- 電子産業向け水処理装置は、ハード、メンテナンスともに増加。
- 一般産業向け水処理装置は、ハードを中心に増加。



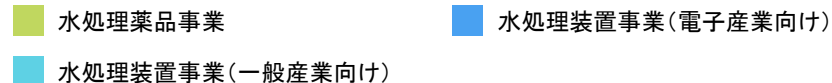
売上高

- 水処理薬品は、海外向けが大きく増加。
- 電子産業向け水処理装置は、メンテナンスを中心に増加。
- 一般産業向け水処理装置は、工事進捗の遅れにより減少。

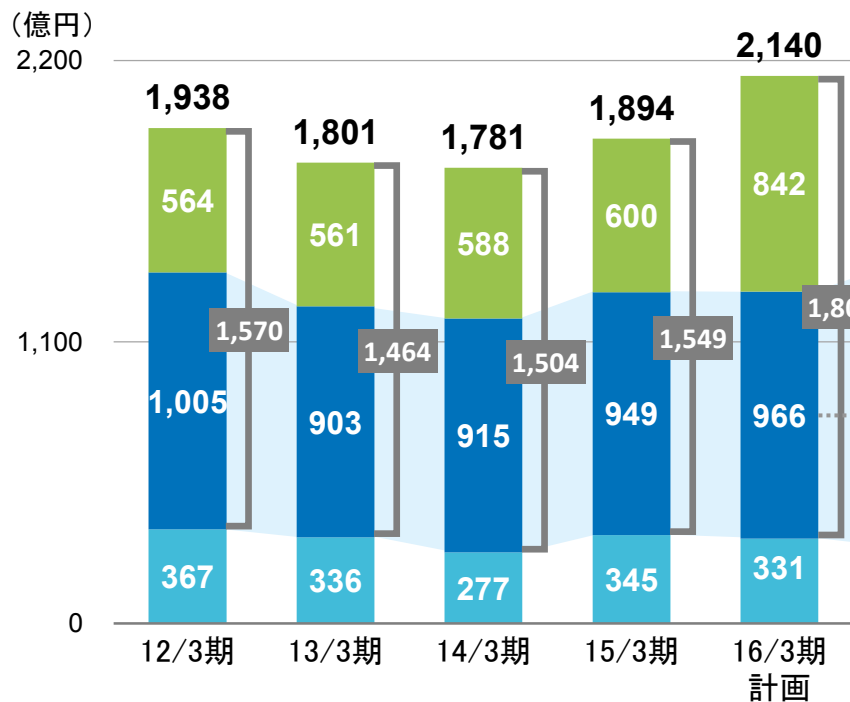
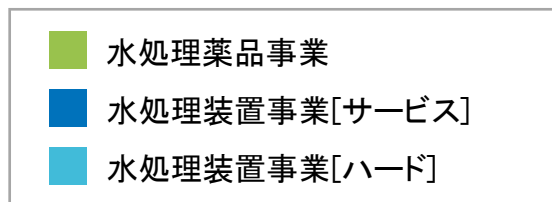


営業利益

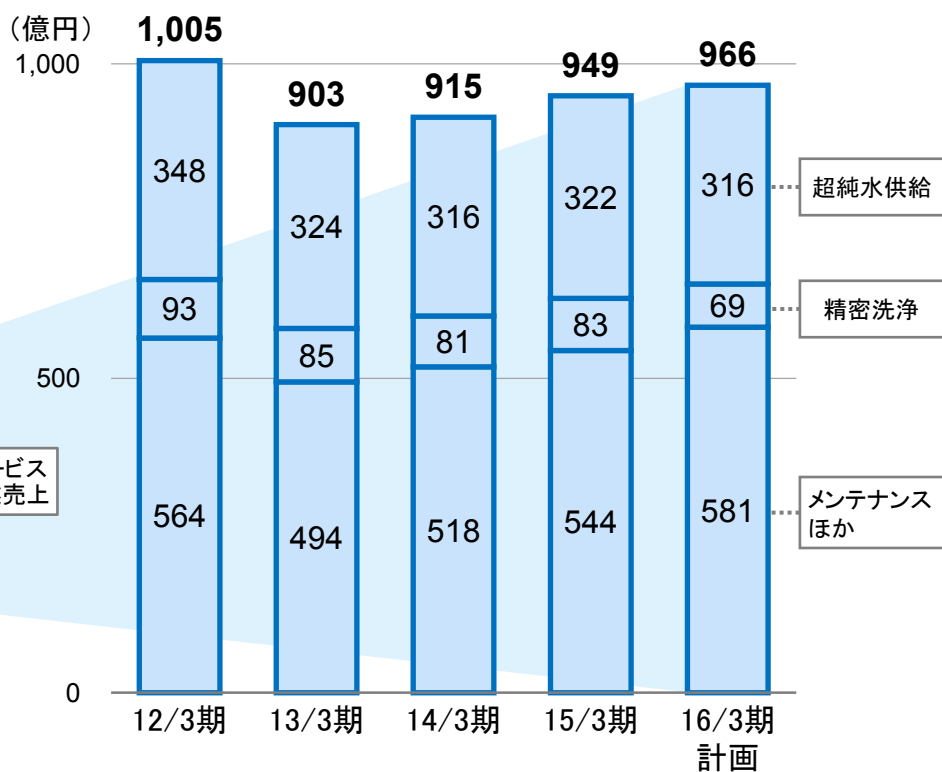
- 水処理薬品は、販管費の増加により減益。
- 電子産業向け水処理装置は、原価率の改善により増益。
- 一般産業向け水処理装置は、ハードの減収による原価率の悪化と販管費の増加により減益。



3. サービス事業売上高



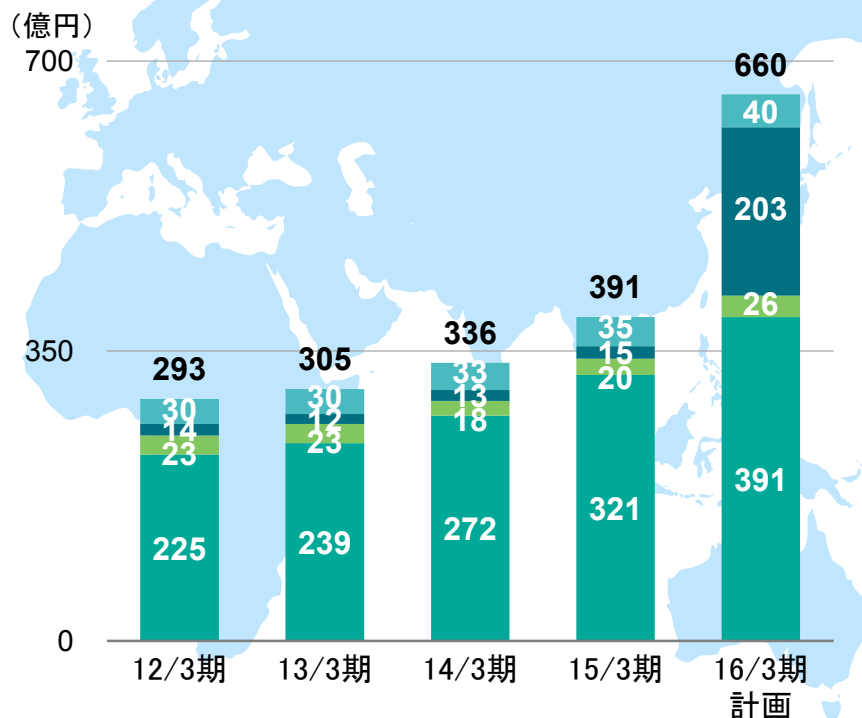
装置事業中のサービス事業売上高内訳



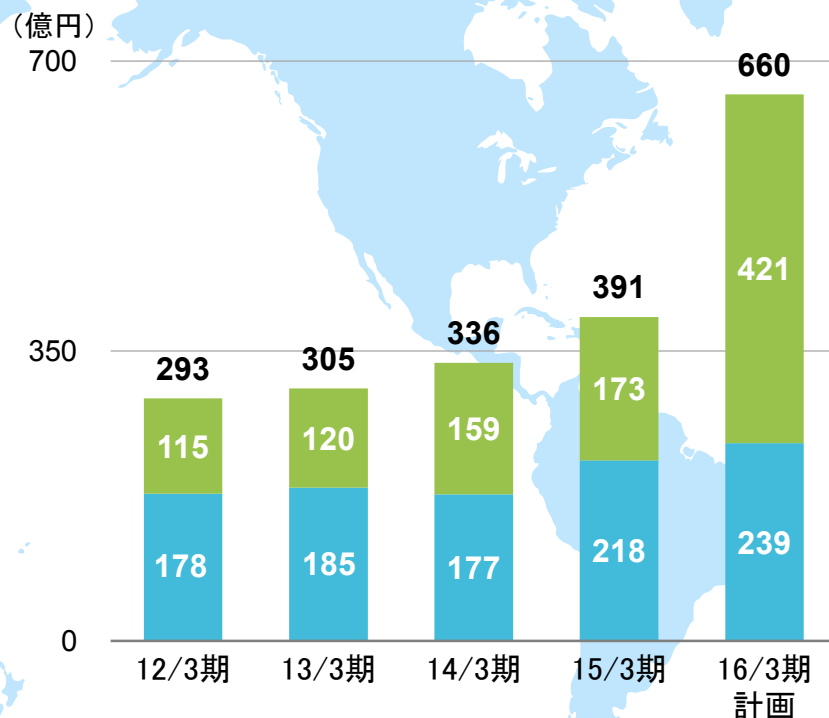
■ 16/3期は水処理薬品とメンテナンスの増加で、サービス事業売上高比率は84.5%を見込む。

4. 海外事業売上高

海外地域別売上高



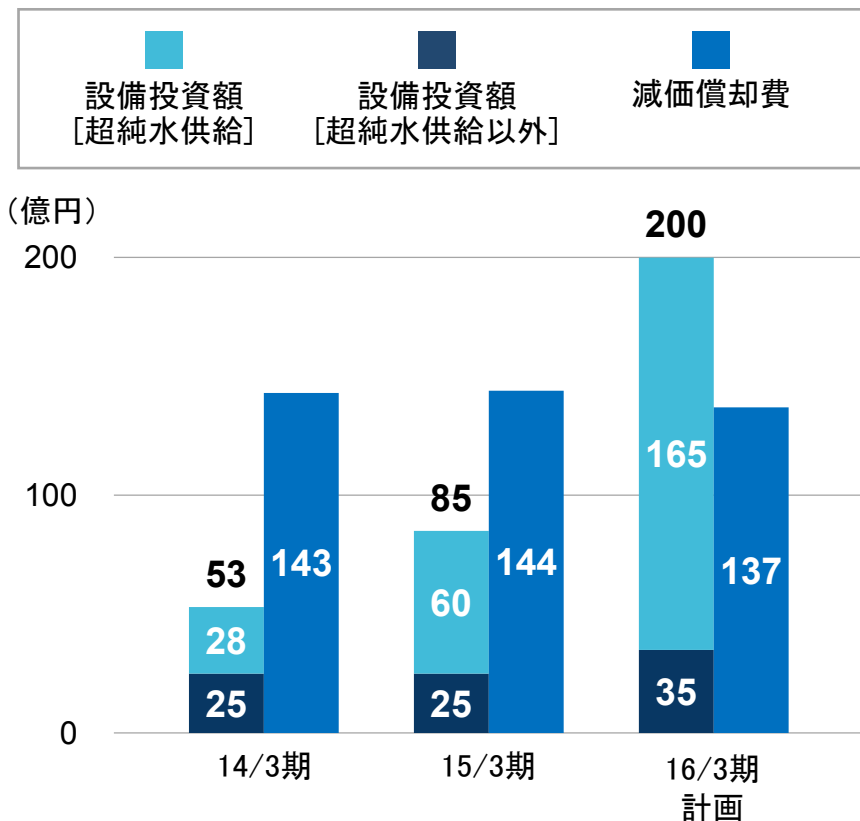
海外事業別売上高



- 16/3期は買収案件の寄与により、欧州売上高・水処理薬品売上高が大きく増加。
- 海外売上高比率は31%に上昇。

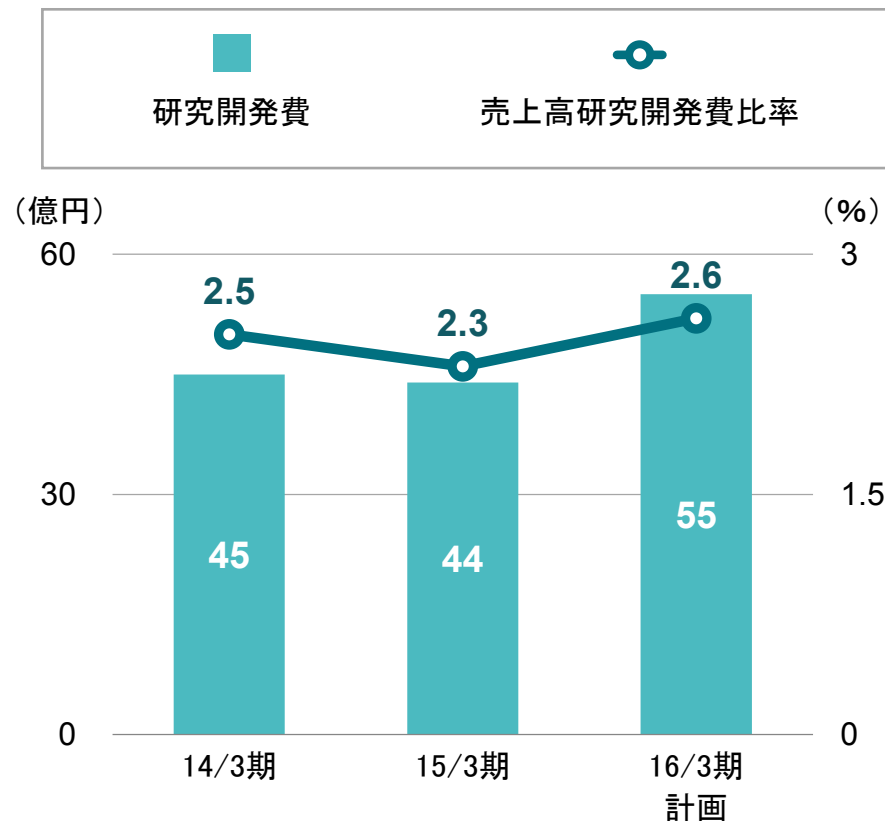
5. 設備投資・減価償却費・研究開発費

設備投資・減価償却費



■ 16/3期は超純水供給事業の設備投資の大幅増加で設備投資が減価償却費を上回る。

研究開発費



■ 16/3期はKEAGとの技術シナジーや総合力の発揮を目指し資金を投入。



- U R L ■ <http://ir.kurita.co.jp/>
- M A I L ■ ir@kurita.co.jp

【 将来見通しに関する注記事項 】

本資料に掲載されている計画数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。